

# 議員全員協議会会議録

令和3年12月6日

宮古市議会

## 令和3年12月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(12月6日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
議会事務局出席者	2
開 会	3
説明事項(1)	3
閉 会	10

# 宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時 令和3年12月6日(月曜日) 午後1時8分  
場 所 市議会 議場

○

事 件

[説明事項]

(1) 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る評価及び検証について

出席議員（21名）

1番	白	石	雅	一	君	2番	木	村	誠	君	
3番	西	村	昭	二	君	4番	畠	山	茂	君	
5番	小	島	直	也	君	6番	鳥	居	晋	君	
8番	佐々	木	清	明	君	9番	橋	本	久	夫	君
10番	伊	藤	清	君	11番	佐々	木	重	勝	君	
12番	高	橋	秀	正	君	13番	坂	本	悦	夫	君
14番	竹	花	邦	彦	君	15番	長	門	孝	則	君
16番	落	合	久	三	君	17番	松	本	尚	美	君
18番	加	藤	俊	郎	君	19番	藤	原	光	昭	君
20番	田	中	尚	君	21番	工	藤	小	百	合	君
22番	古	舘	章	秀	君						

欠席議員（0名）

なし

---

説明のための出席者

説明事項（1）

総務部長	若江	清隆	君	企画部長	菊池	廣	君
市民生活部長	松舘	恵美子	君	保健福祉部長	伊藤	貢	君
産業振興部長	伊藤	重行	君	都市整備部長	藤島	裕久	君
上下水道部長	大久保	一吉	君	危機管理監	芳賀	直樹	君
教育部長	菊地	俊二	君	企画課長兼公共交通推進課長	多田	康	君
地域創生推進室長	中居	裕美	君				

---

議会事務局出席者

事務局長	下島野	悟	次	長	前川	克寿
主任	佐々木	健太				

## 開 会

午後1時8分 開会

○議長（古館章秀君） 皆さんご苦労さまでございます。ただいまから議員全員協議会を開会します。ただいままでの出席は21名でございます。会議は成立しております。本日の案件は説明事項1件となります。

○

### 説明事項（1） 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る評価及び検証について

○議長（古館章秀君） 説明事項の1、第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る評価及び検証について説明願います。菊池企画部長。

○企画部長（菊池廣君） それでは第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価及び検証についてご説明いたします。議員の皆さんご承知のとおり、平成26年に国のほうではまち・ひと・しごと創生法を制定いたしました。これを受けて本市でも宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略を平成28年2月に策定いたしました。令和2年3月には総合計画の基本計画の中に包括する形で第2期総合戦略を策定しております。これにつきまして、宮古市まち・ひと・しごとの評価及び検証案ということで、今般取りまとまりましたのでこれをご説明するものでございます。詳細につきましては、多田企画課長のほうから説明させていただきます。

○議長（古館章秀君） 多田企画課長。座って説明してください。

○企画課長（多田康君） それでは失礼して着座にてご説明を申し上げたいと思います。資料1、2、3と、3通りございますので順にご説明をさせていただきます。まずお手元資料1のほうをご用意いただければと思います。こちら令和3年度第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価及び検証案でございます。中身のデータにつきましては、2年度の決算がまとまったこと、それから統計の数字がほぼ出そろったことに伴いまして今回評価と検証を加えたというものでございますので順にご説明を申し上げます。1ページをお開きいただきますとページ番号3でございます。趣旨のほうを簡単に書いてございます。先ほど部長のほうからもお話しいたしましたとおり、国の法律に基づきまして市でも創生総合戦略を立ててこれまで取り組んでまいりましたというところでございます。そして第2期の策定に当たっては、総合計画の改定時期と同じくしたことから、内容については包括をして一緒に取り組むんだということで第2期の創生総合戦略を策定いたしました。現在取り組んで第1年目が終わったというところでございます。この総合戦略についてはPDCAサイクルを回していくという観点から、その数字を皆さんとともに共有しながら、評価検証を加えて、また翌年につなげていくというものでございます。議会へのご説明もそのとおりでございますが、あとは市民推進委員会持っておりますので、その推進委員会のほうにもご提示をしながらご意見頂戴したいというふうに考えてございます。それから中ほどでございます。今回加えましたその進捗状況に対する評価の考え方でございます。進捗度による評価、時々出てまいりますけれども令和6年度が第1期、前期の5年間ということになりますので、これを100といたしまして現在どの状態にあるかというのをあらわしてみたというものでございます。これからご覧いただきます中身については5年かけて上げていくものと、それから常にその目標値である数値をキープしなければならないというものがございますので、一律全部の項目についてこれが当てはまるものではございませんけれども、目標値に対して、現在どの辺の位置にあるかというのを一律的にあらわしたものであるということになりますので、後ほど個別にまたお話をしたいと思います。1番下でございますが、評価の表示についてはA B C Dということであらわしてございます。Aについては目標を達成したものの、Bですと進捗度20から100までということ、それからCですと進捗度ゼロから20まで、それからDだと進捗度がゼロもしくはマイナスということ

簡易的にあらわした記号になってございます。4ページ目にまいります。まち・ひと・しごと創生総合戦略ということになりますのでこの三つの観点で、現在の基本目標に対しての達成度を数字で書いた総括表ということになります。まち分野に数字の訂正がございまして、まちのAがゼロ、Bが2となつてございまして、Bが3でございました。それからCが3になっておりますが、Cが2でございました。Dが6、それから合計11これは変わらずでございます。ひと分野、しごと分野それぞれ集計をとつてございまして、合計いたしますと、A分野ということで目標達成したものについては1。それからB分野が4ということになります。訂正をお願いいたします。C分野が6ということになります。B分野が17、それから評価困難が3、合計31ということになります。ほかにも訂正がございまして、大変申し訳ございません。後ほど新しいものをお手元にお配りをしたいというふうに思います。5ページからが、まち・ひと・しごとそれぞれの分野で基本目標、目標数値を抜き出した総括表でございまして、内容については以下のとおりでございまして、内容のほうでご説明をしたいと思います。8ページをお開きいただきたいと思つております。こちらからがまち・ひと・しごとそれぞれの分野の基本目標、それから戦略、それから事業というものを書いた表でございまして、まずまち分野からお話をしてみたいと思つております。まち分野、基本目標としては、地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくるという目標でございまして、この目標に対する評価、KPIでございまして、社会減数の人数をとつてございまして、社会減数、策定時平成30年度についてはマイナス606でございました。これを目標のR6について、R6ではゼロまで持っていこうという目標で現在取組中でございまして、R2の実績見ますと、一般質問でもございましたとおり、マイナスの622ということで状態としては悪化しているというような状態でございます。評価としてはDとしてございまして、それからもう一つの評価項目でございまして定住意向割合でございまして、策定時は73.7%だったもの、これ8割まで持っていこうというのが現在の目標でございまして、R2年度実績を見ますと、75.7ということで若干の向上を見ているものでございまして評価としてはBとしてございまして、ちょっと分析が飛びまして、一つ下の戦略、このまち分野の戦略二つでございまして、そのうちの 하나가、この(1)というところでございまして、住み続けたいまちづくり戦略ということで戦略を立ててございまして、基本事業につきましては、①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保ということで、基盤整備に対する市民満足度、それから同じく福祉健康に対する市民満足度を図っているものでございまして、これ押し述べて若干微増しているというような傾向でございまして、それからページ進んで、それ以降は各基本事業の成果を後の表であらわしているものでございまして、鉄道の確保充実と利用促進から、次のページにまいりまして、バス、それから公共交通の手法、防災体制、防災減災教育、医療福祉と続いてまいります。ページのほう10ページにまいります。10ページにつきましては②でございまして、二つ目の基本事業、まちの中心のにぎわい創出ということになってございまして、KPIとして推しはかっているものについても二つになります。市が関わった中心市街地への新規創業者数、策定時が2件であったもの。目標値R6には15件まで引き上げようというものでございまして、R2の実績については現在8件というふうに聞いているところでございまして、評価についてはBでございまして、それからもう一つは中心市街地での歩行者交通量ということで市道末広町線を計ったものということになります。これはR2実績についてはかなり低下をしているというもので、評価としてはD評価ということになります。以降、基本事業の項目がその下の表についているところでございまして、それから11ページにまいります。こちらはまち分野の戦略の二つ目でございまして、(2)人とつながるまちの魅力発信戦略ということで、主に観光、それから情報発信に関わる分野でございまして、①は森川海の魅力を生かした観光の振興ということで、観光の入り込み客数、それから市内の宿泊者数をカウントした数字でございまして、策定時平成30年に比べて、R2について

はコロナ禍の影響を受けている数字でございますので、かなり大きくダウンをしているというのが見て取れようかと思っております。R6の目標150に対してR2は112万人というような状況、それから宿泊者数については30万人に対して17万人であったというような状況で、両項目とも評価はDになってございます。個別の基本事業に関しては、その以下の表に表示をされているところでございます。それから12ページにまいります。

②住めば宮古、住むなら宮古の推進ということで、関係人口、それから移住定住をあらわした項目でございます。KPI2件となっております。宮古市に係る移住定住イベントや支援策により移住した人数ということで策定時平成30年時は1名でございました。R2に実績につきましては6名と表示されているところですが、こちらは9名の間違いでございました。大変申し訳ございません。これが先ほどの総括表に影響を与えている部分でございました。これも後ほど新しいものに差し替えさせていただきます。R2実績9名であったことから進捗度については30%。評価についてはBとなっております。R6の目標値30人ですので、現在それに向けて取組を進めている最中ということになります。それから移住定住相談会の参加者数については、策定時13、それから目標値は30でございますが、現在外に出かけてのイベント、行動が難しいというような背景ございました。R2に実績については4ということで大きく減らしておるというようなところでございます。それではまち分野、振り返りまして分析のほう読ませていただきますので8ページにお戻りいただければと思います。8ページの上から二つ目の四角でございますが、分析というところをお話をいたします。総じてまち分野の横断的な評価を加えたところでございます。数値目標である社会減数の抑制には至っていないが、定意向割合は増加となった。基盤整備は順調に進んでおり、それに合わせて基盤整備に対する市民満足度も上昇した。福祉、健康に係る取組については、コロナ禍の影響を受け進捗が滞ったものが見られたが、福祉、健康に対する市民満足度は上昇した。取組に制限がある中で満足度が上昇したことから、市民に対する各種取組の認知度の向上が満足度の上昇につながったと推察されるということで分析を加えてございます。あと観光移住については、コロナ禍の影響を大きく受けた県境を越えた移動に制限がある中、都市部住民等はインターネット上の情報を収集する通信販売により、地方の物産を取り寄せるなどの行動変容が起きている。この状況下において、観光協会や市の移住者向けホームページのコンテンツの充実を図ったことで、アクセス数を大幅に増加することが出来た。これらを踏まえ、今後は当市の取組や観光等の情報を市内外に発信していくことが必要であるとする、というふうにもまち分野では分析をしてございます。それでは次の分野、ひと分野に参ります。13ページをお開きください。ここからは基本目標ひと、子どもを産み育てやすい環境をつくり結婚出産子育ての希望をかなえるという分野でございます。基本目標に対する評価としてはこの2点でございます。25歳から39歳人口の未婚率を計ったもの。こちら策定時、平成30年時は42、それからR6の目標は37まで低下させようという目標でございました。R2の国勢調査の実績が出まして、R2は45%というものでございましたので、より悪化しているというような方向に現在動いてございます。それから2点目については、子育て環境の満足度ということになります。策定時は45.1%だったもの、これをR6に60%まで上昇させようという取り組んでございます。若干の上昇を見てございます。現在の数値は46.2%ということで評価はCとなっております。以降戦略についての項目がそれぞれ続きますけど、分析のほうを読ませていただきます。子育て環境の満足度はコロナ禍の影響を受けながらも上昇した。待機児童はゼロを維持し、コロナ禍においても安定した利用実績となった子育て支援サービスもあった。このことから、子育て支援の取組及びその情報の周知が子育て環境の満足度向上につながったと推察する。引き続き子育て支援の取組と情報発信を行う必要がある。なお、10から40代の生涯学習環境に対する市民満足度は上昇している一方で、仕事や地域活動などでの女性の活動もしやす

さも市民満足度と、25歳から39歳までの女性人口は減少した。このことから、子育て支援や生涯学習環境の充実と、地域内での女性の満足度は連動しないことが分かる。したがって子育て支援とは別に、女性が望むライフスタイルを実現できるような取組が必要であるとしてございます。また、高校2年生の宮古市への愛着度も減少した。R2年度より、市内の高校と連携し、生徒が地域を知る取組を始めている。小・中学校においても、地域住民と連携し、地域の伝統や歴史、災害に対する学びなどの学習を行っている。子どもの愛着度を向上させるためには長期的かつ継続的な取組が必要である。したがって引き続き学校地域住民、地元企業、行政等が協力しながら、小中高それぞれの過程において、働きかけを行っていく必要があると考えるということの分析としてございます。以下の数字につきましては先ほどと見方同じでございましてので割愛をさせていただきます。続いて18ページにまいります。こちらが仕事分野ということになります。仕事分野、基本目標は、地域に根差した産業振興し生活を支える所得が得られる仕事を創出するとしてございます。基本目標に対する評価2点ばかり挙げてございます。市民1人当たりの分配所得でございます。平成30年度策定時は平成29年値でございますが、市民1人当たりの分配所得277万円でございます。目標R6年度は国民所得に近づけようというのが目標でございますが、R2年度実績は平成30年値ということになります。平成30年値は274万円でございます。市民の所得としては若干下落傾向にあるということが見て取れようかと思えます。県の数値、国の数値については若干微増というものでございますので、市が下がり始めているという状況が見て取れようかと思えます。それから二つ目の項目でございますが、高卒新卒者のうち就職希望者の管内就職率ということでこれも一般質問でお話あったところでございますが、平成30年度が44人、R6の目標値70人をまだ掲げてございますが、R2に実績については48.9ということで様々な要因あって上昇しているというところが見て取れようかと思えます。分析のほうにもあります。市民1人当たりの分配所得は僅かに減少した。復興関連事業の減少のほか、新市基幹産業を支える水産資源の減少なども影響したものと考えられる。地域産業全体では、今後もコロナ禍による多大な影響を受けることが予想される。水産業関係者の所得向上には、安定した水産資源の確保が必要である。現在新たな魚類養殖の取組などが進められており、持続的な水産資源の確保が期待される。また、高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率は上昇した。その一方で、コロナ禍の影響により企業の求人数が減少し、宮古公共職業安定所における就職率は下降した。これらの実績から分析すると、コロナ禍の影響により高校生に県内や市外への就職を控える傾向があったこと。これまで地元企業に対し高校新卒求人の確保を働きかけてきた結果、コロナ禍においても安定した求人確保出来たことが要因と推察される。一次産業新規就業者はいずれの分野においても増加した。特に水産業の増加が大きい。さらなる担い手の確保を目指し、移住施策と連携したPRなど、多方面への周知が必要であるということにしてございます。以下こちらも戦略と基本事業については以下の表のとおりでございますので、後ほどご覧いただければというふうに思います。以上のとおり、第2期の令和2年度からスタートいたしました創生総合戦略の1年目の評価をまとめてみたところでございますので、各委員会にお持ち帰りいただきご意見ちょうだいできればと思っております。資料1は以上でございます。本日、ほかに用意した話題でございますので資料2をご覧いただければと思えます。横綴じの資料2、令和2年度地方創生推進交付金等活用事業の実績についてということで、地方創生系の交付金を活用してどのような事業を行ったかというのをちょっと横串を刺してご覧いただきたいと思えます。3点ほどございます。おめくりいただきますと1点目、事業名としてはサーモンランドプロジェクト事業というふうに名を打ってございます。計画期間、R2からR4年度までということで事業費749万7,000円ほどでございます。地方創生推進交付金を活用して事業を実施してございます。事業の目的といたしましては、宮古市で生まれ育った子どもた



ちがサケのように、海のような社会に旅立ち、やがて宮古市に戻る仕組みづくりということで各種事業を行ってまいりました。R2年度の取組内容を主なものをご説明をいたします。移住相談イベントの実施ということで、実施内容東北セミナーと相談会を開催ということで、従来ですと東京の会場で実施してきたようなイベントを現在オンライン等になってございます。あとは現地係員等を使いながら東京会場の運営も行っているところでございます。参加者は3名でございました。それから2点目は副業マッチングプログラムということで、これも複数年やってる事業でございます、いわゆる遠恋副業化というふうに呼んでいる事業でございます。都市部住民と地元企業の副業マッチングを実施ということで、都市部の方が地元企業の応援をしたいという方々のマッチングをする事業ということになります。R2年度については、オンラインイベントが4回、それから個別面談等を行ってまいりました。結果といたしましては、市内の参加企業が5社、それから副業の参加者が9名、それからマッチングの成立が6件というような実績でございました。それから3点目、高校生との移住定住パンフレット作成ということでいわゆるR2年度はるるぶと協賛をいたしまして、パンフレットを作成をいたしました。実施内容については宮古高校の1年生、1学年と協力をして移住定住パンフレット作成ということで2万5,000部のパンフレットをつくってございます。首都圏の書店での配布、それから各種メディア道の駅等で配布を現在してるところでございます。KPI数値のほうを図っているのが以下4点ということになります。移住相談会と市の事業に参加した後に移住した人の数を抜き出しますと目標4に対して実績1でございました。それから移住相談会への来場者数、目標10に対して実績3でございました。副業マッチングプログラムにより副業を開始した人数目標5に対して実績3でございました。それから市民の宮古市に対する愛着度ということで目標75.5でしたけど実績が70.1にとどまっております。次のページにまいります。続いて事業名、旧警察署を活用したワークライフバランス実現のための子育て支援多世代交流複合施設整備事業ということで、いわゆる警察署を活用した現在の創生センターの事業でございます。R2に事業実施いたしまして、事業費としては1億9,300万ほどでございます。地方創生の拠点整備交付金を使ったほか、地方創生推進交付金を利用しております。事業の目的としては近隣施設が有しない機能を備えた複合型施設を整備、多様な世代地区住民の利用による交流人口の創出を図る。子育て世代の満足度向上のため、施設内にニーズの高いプレイルーム等整備というような内容でございます。R2年度の取組内容、既にこれ皆さんご承知のことかと思えます創生センターの整備に当たっております。R3年3月に完成、翌月4月に開所でございます。令和3年4月から10月までの利用者数、現在までの集計で2万2,000人ほどとなっておりますので、こちらとしては好調な数値かなと思っております。KPIとして実績値はR3年度末に今年度末の数値をもって正確には報告ということにしたいと思っております、定住意向割合、それから住民同士のつながりが広がる場が身近にあると答えた人の割合ですとか、それから拠点施設の利用者数ということで統合対象になった勤労青少年ホーム、それからフラットピアの利用者プラスアルファということで100人宛てでございまして、そういう数を目標に現在取組を進めているところでございます。次のページにまいります。3点目の事業でございます。宮古市結婚新生活支援事業ということでこれは平成28年度から取組を進めているものでございまして、現在の事業費は180万ほどということになってございます。地域少子化対策重点推進交付金となっております。事業の目的については新婚世帯の生活スタート時にかかるコストを支援して結婚の希望を後押しするという事業でございます。R2年度の取組内容、新婚世帯の住居費、引っ越し費用の一部を補助するというので、R2については34歳未満、所得340万未満、結婚1年以内ということで、若い夫婦に補助をしたものでございます。補助件数としては7件ということでアパート等の住居費、引っ越し費用等の補助をしてございます。それから関連する取組としては、いきいき岩手サ

ポータルセンターいわゆる I サボ岩手というところでございますが、これの入会登録料について助成をしたということで、R 2 については18人に対して助成を行ってございます。累計登録者で見ますと298人の登録がございました。そのうちお見合いを実施したのが343人、交際まで発展したのが193人、結婚に至ったのが20人ということで報告を受けてございます。それから次がみやこ縁結び事業ということで結婚希望する男女の出会いの場として婚活イベントを実施したものでございます。R 2 年度 1 回の開催にとどまっておりますがカップル成立が2組でございました。平成29年度から市主催のこの事業については7回実施をしてございまして、延べ参加で146人、カップル成立が22組、成婚まで至った組が4組というような実績でございます。K P I については2点挙げてございます。結婚新生活の補助の支給見込みに対して何人に支給したかということで、目標値100%でございますが、実績値は70%にとどまっているというものでございます。それからアンケートに基づく本事業の認知度を図ったものでございます。100%を目指したところでございますが、実際は3割ぐらいの方しかご存じなかったというような実績でございます。以上が交付金関係の事業の一覧でございました。それから本日もう一つ話題提供がございまして。総務常任委員会のほうには閉校後の校舎の利活用ということで、若干報告をしたものでございます。公募に出てる学校もございまして。あとは住民協働で事業を起こしておこうという学校が二つございまして。一つは本日ご説明をする旧亀岳小学校の部分でございまして。もう一つは旧門馬小学校について今住民協働で作業を進めているところでございます。本日はまだ途中経過でございまして、亀岳小学校の取組ということで若干情報提供させていただきたいと思っております。資料3でございまして。亀岳小学校利活用に係る田代地域との協働の進捗についてというものでございます。まず簡単に経過をお話を申し上げます。令和2年9月に野外活動センターの活性化というミッションで地域おこし協力隊、福原さんという隊員が着任をしております。兵庫県から着任をしております。そして昨年の12月でございまして。田代の自治協議会から亀岳小学校の閉校を踏まえて地域協働に係る要望書の提出がございました。翌1月の経営会議において、この要望の取扱いについて審議をいたしまして、その要望のとおり取り組むこととして市としては意思決定をしております。2月には回答書をお渡しをしております。3月末をもって亀岳小学校が閉校になったというものでございまして、それ以降ワークショップを開催しております。第1回、第2回、第3回と書いてございまして、それ以外にも人数を絞った形で随時分科会を開催して現在に至っております。地域協働の狙いというのを真ん中に書いてございまして。宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略が目指す人口減少に対応した持続可能なまちづくりを進めていくんだという視点で現在取り組んでございまして。旧亀岳小学校閉校となつてございまして、この施設を通じた地域活性化を図るということで、田代地域を持続可能なモデル地域とするということで進んでございまして。仮にこのモデルが成功いたしましたら、横展開によってほかの地域にも広がっていきましょうということで現在取組を進めているところでございまして。3番には議論の展開ということで簡単に抜き書きをしております。地域要望の趣旨、繰り返しになりますが、地域からの要望は以下のとおりでございました。自立した地域社会の運営のため旧亀岳小学校を中心に、地域自らが稼げる地域経営ビジョンをつくるというものでございました。市役所に対して何かをしてくれという話ではなくて、一緒にやりたいんで力をかけてくれというような要望内容だったように捉えてございまして。現在その論点を整理するためのワークショップを重ねてやっているとございまして、地域からの優先課題に対応した職員の派遣を行ってございまして。一気に全ジャンルをやるというふうにはなかなかまいりませんので、現在優先課題を絞ってその都度、それに応じた人員を配置しているというものでございまして。現在の優先課題としては野外活動センターの利活用であること、それから廃校舎の利活用であること、地域の活性化であること、それから高齢者の生きがい対策である。あと

はエネルギー対策にしてどうするか、というようなのが現在議論の主眼でございます。今後は各ジャンルごとに当該部署との協働を推進していくということで随時話題がまとも次第、次の話題に手をかけていきたいと思っております。次のページ簡単なポンチ絵をだけつけております。これまでの議論の要点ということで簡単にご説明を申し上げます。地域のほうからは、この多志呂国、当て字になってございますが、こういう独立国ここをつくるんだというような考え方が示されております。地域の目指す姿としては、地域住民にとっては、豊かな生活で幸福度をアップさせようという目標を掲げてございます。それから地域外は田代のファンづくり、田代のファンをどんどん増やして来てもらおうじゃないかというような情報発信を進めていくことにしております。拠点施設が4か所ございますので、その4か所ごとに本日はまとめてみました。右上から参ります。市民農園がございまして。それから併設してふれあい農園がございまして。ここの役割としては、交流と体験の実践の場というようなまとめ方をしております。現在の市民農園のほうは利用者の方たくさんいらっしゃいますけれども、ふれあい農園のほうは放置されているというような状況になりますのでここを活性化してこれを交流と体験の核にしようというような考え方で様々今アイデア出しが行われているところでございます。それから左に参りますと、野外活動センターの隣にあります農産物の加工場がございまして。現在でも豆腐等の加工が行われている場所ということになります。ここについての役割は、加工販売の実践の場としてここを使っていこうじゃないかという整理をしております。豆腐等の農産物加工であるとか、里山の食文化、あるいはジビエ等に事業展開が出来ないかというような視点で現在取り組んでございます。下のほうに参ります。野外活動センターがございまして。野外活動センターの遊具が老朽化して現在撤去されたり、それからキャンプ場としての施設バンガローとかが古くなっているというような状況でございます。スケート施設も老朽化しているというようなことでこれからの活性化について皆さんが課題に思っているところでございます。役割としては街中の公園とは異なる、子どもたちには冒険を、大人には安らぎをとということで、大型遊具を入れるような街中公園ではなくて、やはりこういう環境、地の利を生かして何か出来ないかということの主眼に現在取り組んでございます。テント泊であるとかハンモックであるとか、バーベキューであるとか、グッズの貸出し等も現在検討しております。テントサウナ、薪風呂の体験、野外遊びの提供とか体験講習の実践の場としてはどうかというような観点で検討が進んでございます。右のほうに参りますと、旧亀岳小学校の活用ということになります。野外活動センターとは、実習の場と座学の場ということで役割を分けて取り組もうということで地元の方々頑張っていると思います。役割としては集落の拠点機能、それから学びや集いの中心施設ということを観点に検討が進んでございます。ミニデイサービスであるとか地域内送迎など高齢者の足をどうするかというような検討も進んでございます。あとは社会人の大学ギャラリーなど、知の拠点としての整備を念頭に、現在アイデア出しが行われているというところでございます。下のほうのポンチ絵については箱と人っていうのが今のキーワードというふうにとらえてございまして、この箱そのものはどういう機能を持たせるか、公民館機能なのか、地域振興センターなのか、公の施設なのか、小さな拠点なのか、というような論点で現在話を進めてございます。あとそれをサポートする人は、公民館主事なのか、それとも集落支援員みたいな人なのか、ということで現在進めているところで話合いがある都度、田代のかかわり版ということで、その協力隊の福原隊員がこういうかわり版を作って、地域内で回覧をしているところでございます。それぞれの活動の様子等をこういうふうにして、PRをしながら機運を高めていくということで、今回第3号だけ抜き出して持ってきましたけど、こういう活動が続いてございますので、本日は情報提供させていただきました。説明長くなりましたが、本日の説明以上でございます。

○議長（古舘章秀君） 説明が終わりました。この件は、ただいまの説明にもありましたとおり、議会に意見を求められている案件でございます。議会としての意見集約の場は後日別に設定したいと思っております。よって本日の説明員への質疑は、意見ではなく、ただいまの説明や資料に対する質問、確認とし、後日意見集約するための疑問の解消に当たっていただくようお願いいたします。それではこの件について何かあれば挙手願います。

松本尚美君。

○17番（松本尚美君） シンプルに今議長が意見を求められているということでしたが、これは期限といたしますか。いつ頃想定されてます。

○議長（古舘章秀君） 多田企画課長。

○企画課長（多田康君） 僭越ではございますが、1月中を目途にご意見頂戴できればと考えてございます。

○議長（古舘章秀君） よろしいですか。そのほか皆さんございませんか。ないようですので、この件はこれで終わります。それでは本件に関する今後の意見集約について事務局より説明をお願いします。下島野事務局長。

○議会事務局長（下島野悟君） 先ほど企画課長のほうより発言がございましたが、本件は担当部課より議会からの意見を求められている案件でございます。昨年同様、各常任委員会ごとに検討した後、合同の常任委員会で意見集約を行ってはどうかと考えております。スケジュールといたしましては、来年の1月第3週、1月11日の週に合同常任委員会を開催したいと考えておりますので、各常任委員会では、それまでに本件の協議をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（古舘章秀君） 事務局より意見集約の手法について説明がありました。ただいまの説明のとおり進めることに皆様ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（古舘章秀君） 異議がないようですので、それではそのように取り扱いたいと思っております。説明員は退席願います。お疲れさまでした。予定しておりました説明を全て終了いたしました。その他に移ります。皆さんから何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（古舘章秀君） ないようですので、これをもって議員全員協議会を閉会します。お疲れさまでした。

午後1時50分 閉会

○

宮古市議会議長 古舘章秀